

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吉富運輸 加東営業所 新築	階数	地上1F
建設地	兵庫県加東市梶原宇千鳥川下林39	構造	S造
用途地域	無指定	平均居住人員	30 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,952 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年4月 予定	評価の実施日	2024年4月3日
敷地面積	15,423 m ²	作成者	高橋 祐大
建築面積	4,675 m ²	確認日	2024年4月3日
延床面積	4,939 m ²	確認者	佐原亜弓

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合	倉庫として十分な保管空間と環境バランスを配慮した計画とした。	
Q1 室内環境	対象外	Q2 サービス性能 階高・空間のゆとりを持ち、長期的に利用できるような計画している。
Q3 室外環境(敷地内)		大型車乗り入れのため構内通路は大きく取るようにしている
LR1 エネルギー	一般的な常温倉庫の仕様とした。	LR2 資源・マテリアル 一般的な常温倉庫の仕様とした。
		LR3 敷地外環境 大型車の乗り入れや、荷捌きのスペースを有効活用出来るよう配置した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される